

自然の仕組みの不思議さ

柏木 博之

もうすぐ夏休み。夏休みといえば、男の子にとっては虫捕りの時期です。私も毎日のようにカブトムシとクワガタを探しに雑木林へ行っていました。そんな虫たちの餌であるクヌギやコナラなどの木の樹液について、つい最近読んだ本（『セミたちと温暖化』日高敏隆著）で初めて知ったことがあり驚いています。

カブトムシやクワガタ、チョウ、スズメバチも集まるクヌギの樹液は、枝が折れたりスズメバチが巣を作るために樹の皮をはいたりしてできた木の傷から、自然ににじみ出ていると思っていました。そのようにしてできた樹液は1ヶ月程度でしみ出さなくなるそうです。樹液が流れ続ける仕組みに、ボクトウガというガが関わってきます。ボクトウガの幼虫はクヌギの木をかじって穴をあけて木の中にもぐりこみます。かじられたクヌギはそれに対抗するために、液体（樹液）を分泌して幼虫を追い出そうとします。ボクトウガの幼虫はクヌギの木を餌にしているのではなく、樹液に集まるアブやハチ、ガやチョウなどを穴に引きずり込んで食べてしまうそうです。こんな仕組みをよく考え付いたなあと不思議に思います。このことは香川大学・市川俊英教授の研究で明らかになりました。市川教授もよく調べることができたなあとと思います。このような自然の不思議さをいっぱい体験できるのが夏休みです。私たち人間も自然の一員として生きています。今、目に入って見えているものはごく一部に過ぎません。見えないものを「なぜかな?」という疑問をもって見る力を養っていきましょう。

もう一つ夏休みに考えてほしいのは戦争です。是非読んでほしい本をやっと読み終わりました。『永遠の0』（百田尚樹著）です。この本は日本人の必読書だと思います。小説なのでフィクションの部分がありますが、百田氏が入念に取材し、歴史の事実に基づいている部分が多くあります。私の祖父が戦死した場所の様子も少し書かれていました。鹿児島・三島村に関わりの深い特攻の話でもあります。図書館にいずれ入れておこうと思います。中学を卒業するまでに読んでほしいです。有意義な休みになるよう、一日一日を大切に4日間過ごしてください。もうすぐ長浜海岸で子ガメが生まれるでしょう。楽しみにしてください。ウミガメのように成長して9月2日に元気な顔で会えることを楽しみにしています。



2学期の主な行事予定

- 9月27日(金) 運動会準備・緑門作り ○9月28日(土) 秋季運動会 ○10月16日(水) 17日(木) 中間テスト
 - 11月5日(火) PTA・高齢者学級授業参観、ふれあいグランドゴルフ大会 ○11月2日(土) 文化祭
 - 11月25日(月)～27日(水) 期末テスト ○12月4日(水) 授業参観、ファミリー給食・PTA
 - 12月10日(火) 百人一首大会 ○12月13日(木) 持久走大会
- ※ 諸事情により変更になる場合があります。直前の案内で確認をお願いします。

職場体験～夢をかなえるために

中学生は、6月25日(火)から28日(金)まで、将来よき社会人となるために鹿児島市で職場体験学習を行いました。中学1年生の彪君、典哉君とは農業体験を行い、2年生の安海さんは博物館、3年生の聖智君は福祉施設、武君は建設会社、詩緒里さんは保育園でそれぞれ働く体験をしました。子ども達は仕事に打ち込む人生の先輩方のアドバイスを受けながら、たくましくなって島に帰って来ました。二十歳まであと5年余り。夢をかなえるために大切な時期がきました。

校内水泳大会

11日(木)に「校内水泳大会」がありました。まさに夏。ざらざらと太陽は照りつけ、水の心地よさを子どもたちは余計に感じていたようです。保護者の方々には競技する子どもたちに温かい声援をいただきました。感謝申し上げます。子どもたちは、学習の成果を十分に出し切ってプール開きの時とは見違えるほどの成長した泳ぎを見せました。自分の目標の距離を泳ぎきったり、より速くより美しいフォームで泳いだりしました。また、全校で協力したゲームもあり、和気あいあいとした校内水泳大会となりました。これから夏休みを迎えますが、この夏休み期間中にも、さらに水と親しんで更に泳ぐことを好きになってほしいと思います。



夏の祭典7月24日(水)

今年度も中学生が、24日(木)の県中学校音楽コンクール「夏の祭典」に参加します。子どもたち一人一人が、本番に向けて、一生懸命ジャンベ練習に取り組んでいます。本番間近となり、ますます練習にも熱が入ってきました。当日演奏するのは「ANT(アンタ) = Let's go!」です。

当日は、三島中学校ならではの抜群のチームワークで力強いジャンベ演奏を披露してほしいです。

会場：鹿児島市宝山ホール。
出演時間：18時20分スタート



夏休みの生活の決まりについて

- 規則正しい生活を心がける。
- 計画的に学習をする。
- 安全に気をつける。
- 健康な体をつくる
- 夏休みにしかできないことを大切にする。

上の5つのことについて、子どもたちと夏休みに向けて大切な約束をしました。

特に具体的に気を付けていただきたいのは、自転車を運転する際にはヘルメットをかぶることやフェリー内では静かに過ごすこと、また鹿児島市内に出かけた際にゲームセンターへの出入りをしないことです。

三島村の子どもとして胸を張って生活してほしいです。更に遅く、心優しくなって9月を迎えることを信じております。

ご結婚おめでとうございます' みしまっこサンバ'で祝福

7月6日(土)に「横山毅さんと綾さんの結婚パーティー」で三島村立三島小中学校の子どもたちは「テントウ虫のサンバ(みしまっこバージョン)」を披露し、二人の門出をお祝いしました。ご存じテントウ虫のサンバは昭和47年チェリッシュが歌った日本人のだれもが知っている名曲です。浮き球で作った赤青黄色のコスチュームを纏った小学生テントウムシさん、そして三島名物の中学生クジャクさんは明るく元気に二人の門出をお祝いしました。

